

社会との共通価値創造につながる取り組み

環境配慮型商品の開発

当社では、環境負荷低減につながるライフサイクルの長い製品や、エネルギー効率の高い製品・サービスを開発しています。断熱効果が高い脱フロン製品や生分解性樹脂を使用したフィルム、シリコンウエハーケースの洗浄再利用などの製品・サービスを通して、環境負荷低減に貢献しています。

2015年度は、新たに開発した環境配慮型製品の販売を開始しました。

優れた断熱性で高い省エネ効果を有する

「アキレスエアロンFR-FO」

2015年6月1日から全国で販売を開始した「アキレスエアロンFR-FO」は、地球温暖化係数 (GWP) の低いノンフロン新発泡剤HFO (ハイドロフルオロオレフィン HFO-1233zd) を用いた「建築物断熱用吹き付け硬質ウレタンフォーム」です。

●アキレスエアロンFR-FOの特徴

新発泡剤を使用することで地球環境に優しく、HFC (ハイドロフルオロカーボン) と同等の熱伝導率 (0.026W/m・k) を実現しました。従来のノンフロンタイプと比較して断熱厚みが軽減され、室内空間に余裕ができます。

新発泡剤HFOは、フッ素化合物ですが、フロン類とは区別されており、しかも、ODP (オゾン層破壊係数) = 0、かつ、GWP (地球温暖化係数) = 1のため、環境への負荷が少ない発泡剤です。

アキレスエアロンFR-FO
吹き付け施工イメージ



「健康&省エネ対策」製品

当社では、シックハウス症候群の主な原因物質であるホルムアルデヒドを吸収分解する性能を付加した石膏ボードと、高い断熱性を発揮する硬質ウレタンフォームの複合製品「アキレスHCパネル」を発売しました。これは、優れた断熱性能と併せて、室内に残留するホルムアルデヒド濃度を低減する効果があり、健康への配慮と省エネルギー化に貢献する製品です。



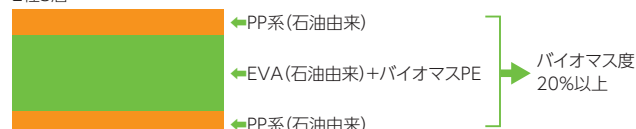
HCパネル施工イメージ HCパネル

環境配慮型POフィルム「アキレスPOViC※1」シリーズ

●再生軟質POフィルム「アキレスPOViC-BR」

アキレスの配合技術および多層製膜技術と植物由来の原材料を組み合わせた新しいバイオマス系フィルムです。バイオマスマーク※2を取得し、グリーン購入法※3にも適合している透明性のあるフィルム製品です。

2種3層



POViC-BR断面構造イメージ



●再生梨地軟質POフィルム「アキレスPOViC-MR」

原材料の一部に、リサイクル非塩素系素材を使用したエコマーク※4認定の梨地フィルムです。グリーン購入法にも適合しています。



●再生透明軟質POフィルム「アキレスPOViC-TR」

(グリーン購入法適合)

透明性があり、グリーン購入法に適合した軟質ポリオレフィンフィルムです。



※1 軟質PVC (ポリ塩化ビニル) フィルムとPO (ポリオレフィン) フィルムの特色を融合させた非塩素 (非ハロゲン) 系の汎用ポリオレフィンフィルムです

※2  地球温暖化防止の観点から「バイオマス・ニッポン総合戦略」の普及啓発事業の一環として生まれたマークです。生物由来の資源 (バイオマス) を利活用し、品質および安全性が関連法規、基準、規格などに合っている商品を農林水産省、環境省を主務官庁とする一般社団法人 日本有機資源協会が認定しています (当製品の取得No.130004)

※3  2001年に施行された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」の略称です。国や地方公共団体などが環境に配慮した製品を率先して購入することや、国民への情報提供の義務づけを定め、循環型社会の形成を推進することを目的としています

※4  消費者が環境を意識した商品を選ぶ目安として活用することを目的とし、1989年に環境省所管の公益財団法人 日本環境協会によって制定されたマーク。カテゴリーごとに定められた基準を満たし、環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認定された商品・サービスに付けられています

健康経営につながる取り組み

急速な高齢化に伴う医療費増大が深刻化している日本社会において、従業員の心と身体の健康を増進させる取り組みは、企業の社会的責任の一つです。併せて、人口減少問題は市場縮小や労働力不足など深刻な課題を企業に与えています。その解決策の一つとして注目されているダイバーシティへの取り組みは、アキレスグループにおいても重要と位置づけています。

「チーム峯岸」との取り組み

当社は、2016年1月より、車椅子競技で活躍しているアスリートを、ヨガを取り入れたトレーニング方法で、心と身体づくりの両面から支援している峯岸道子氏とアドバイザー契約を結びました。障がいを持つ選手たちの頑張りが、障がいを持つ全ての方に希望を与える、そこに携わることの喜びをいつも熱く語ってくださる峯岸氏に、当社は感銘を受けました。

峯岸氏の活動を通じて、障がいを持つアスリートの皆さんを応援することと併せて、当社の従業員に対しても、心と身体の健康づくりに役立つ指導を行っていただき、健康経営の一助にしたいと期待しています。



チーム峯岸
トレーニング風景(神奈川県)

環境配慮につながる取り組み

当社では、社内で共通する身近な現状業務を見直し、効率化を図ることで経費削減および品質向上などにつなげることを目的に静の5S[※]として、「AMT(アキレス・ムダ・取り)活動」を推進してきました。全社的に定着が進みましましたので、次のステップとして、作業方法、原材料、製品にいたるまでを動の5Sとして、生産革新を推進しています。これらの活動を通して、省資源化や省エネルギーにも貢献しています。

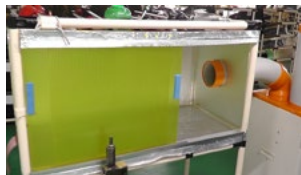
※整理・清掃・整頓・清潔・躰

省エネルギー化につながる設備改善

シューズ製品をイレクターで作製した冷却設備に一定時間保管する業務において、従来は冷却設備に製品を入れやすいようにカーテン式のフィルムを取り付けていましたが、フィルムの経時劣化により、次第に冷気が漏れるようになってしまいました。このフィルムをポリカーボネート板で作ったスライド式扉に替えたことで、製品の入れやすさはそのままに、冷気の漏れを防止し、エネルギー効率の向上を図りました。このような細かな改善を積み重ね、省エネルギー化に努めています。



改善前



改善後

社会課題解決型商品の開発

当社では商品開発を通して、さまざまな社会課題解決に貢献しています。老朽インフラの保守整備に関する商品・サービスや、救命および防災に貢献するボートやテント、健康に配慮した寝具やシューズなど、さまざまな商品の開発を行っています。

「レスキューボート ナビカーゴNC-330」が「JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION」に認定

各地の水害や津波災害の救助現場で求められるハードな要求に応える救助用ボートとして開発されたたいへんユニークな製品として、「レスキューボート ナビカーゴNC-330」が「JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION VOL.17」^{*}に選定されました。

●ナビカーゴNC-330の特徴

「瓦礫に対する強度」「水深の浅い場所での救助活動に適した設計」「救助時の船体の安定性確保」など、東日本大震災で救助活動に参加された消防隊員の皆様の声に応えた製品です。

瓦礫との接触で船底などが破損しないよう、FRP船体を組み合わせ、また、水深が浅い場所でも救助活動が行いやすいよう、船底を平らにして水中への船体の沈み込み量を軽減しました。また、船体の周りに浮力体入りチューブを配置し、被救助者がボートに乗り込む際に起きる船体の傾きを抑え、安定性を向上させました。

ナビカーゴの最大の特徴は、FRP船体自体が、チーブやライフジャケットを収納するBOXの役割を果たすよう設計されている点です。また、船検・船舶免許が不要な2馬力船外機の装着が可能です。



レスキューボート
ナビカーゴNC-330

※JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会)は、毎年、「可能な限り製品を現物保存し、将来のデザイン文化育成に資する」ことを目的に、「JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION」事業を展開しています。公募型のデザイン賞とは異なり、セクションの選定に際しては、JIDA会員からの推薦に基づき、デザインに携わるデザイナー自身の目によって選定される、より深いデザインマインドに基づいた制度です